

排ガス中の放射能物質濃度測定機器

Radioactivity measurement

2011年12月に環境省が公示した第1版放射能濃度等測定方法ガイドラインによると、排ガス中の放射能濃度測定においての試料採取位置は、最終排出口のガス組成と同一のガスが採取できる排ガス採取口とされています。排ガスの試料採取はJIS Z8808「排ガス中のダスト濃度の測定方法」に準拠し、等速吸引により採取を行ないます。

採取ガス量は約3000ℓを目安とし、検出下限値を充分満足する場合は、排ガス量を減らしてもよいとされています。

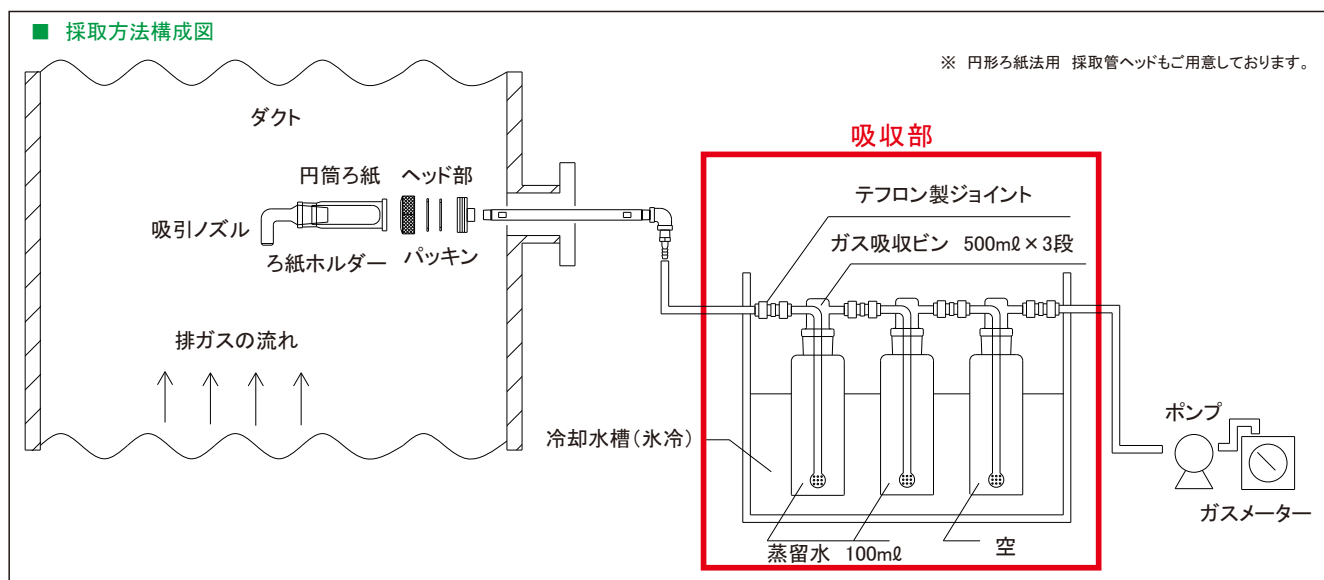
円形ろ紙で採取を行なう際、ばいじん量が多い場合、適宜ろ紙を交換します。ろ紙の枚数に上限はないが極力少ない枚数で採取を行ないます。

<参考>

排ガス処理設備の性能を確認するため、集塵器入口で測定を行なう場合はつぎのとおりとする。

集塵器入口はばいじん量が多いため、ゲルマニウム半導体検出器による測定が可能である円筒ろ紙を用い、5本を上限として適宜ろ紙を交換する。

採取ガス量は円筒ろ紙5本で採取できる量とする。

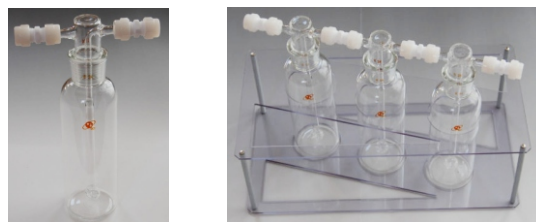


放射能物質測定吸収部セット

特徴

- ケースに全て収納されており、運搬・搬入に便利です。
- ケース外寸 W520×D315×H360mm 重量 5kg
- HPウレタン断熱材使用で保冷力に優れています。

型式:SK-520 価格:99,000円



内容

名称	個数	型式	価格
放射能用 吸収ビン 500ml用	3本	SK-521	22,000円
放射能用 吸収ビンスタンド	1個	SK-522	28,000円
放射能用 冷却水槽	1個	SK-523	22,000円
吸収ビン用 クランプ	3個	SK-517	1,000円
テフロン継手 φ10	3個	SK-524	3,800円
テフロン継手 φ10-φ8	1個	SK-510	3,500円



価格は単価となります。